

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜城北高等学校学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和2年9月17日(木)
- 3 開催場所 本校会議室
- 4 参加者 

委員	河野 隆	はなぞの北幼稚園園長	
	井深 孝敏	三田洞第3自治会長	
	小泉 宣昭	岐阜北ロータリークラブ	
	長尾 弘子	元本校PTA会長	
	神谷 政人	岩野田まちづくり協議会事務局長	
	学校側	正村 達裕	校長
	後藤周太郎	教頭	
	野口 雅子	教頭	
	後藤 清	事務長	
	森 公彦	教務主任	
	岩井 順子	生徒指導部長	
	若井 清美	進路指導部長	
	車戸 祐介	総合学科主任	
	今井 明世	生活文化科主任	

### 5 会議の概要(協議事項)

#### (1) 授業見学

第5限の授業を、南舎の普通教科から北舎の商業科目と家庭科目、特別棟の芸術科目の順に、委員に見学していただいた。

#### (2) 学校評価の結果について

教頭より別紙資料に基づき、7月に実施した学校評価アンケートの結果分析を説明した。

<委員より>

- ・1年生もアンケートの対象なのか。  
→ 全生徒を対象として実施している。
- ・いじめについての項目の数値変化から、過ごしやすい学校になっていることが分かる。

#### (3) 本校の教育活動について

##### ① 岐阜県立学校における学校運営協議会制度の導入について

教頭より別紙資料にて、学校運営協議会と昨年度までの学校評議員会の違いや役割について説明した。

##### ② 学校と地域の連携について

- ・みこし祭りに部活動の生徒が参加させてもらっている。
- ・地元企業の外国人実習生との交流や販売実習は、地域の方に学校に足を運んでいただくよい機会となっている。

##### ③ キャリア教育の推進について

- ・インターンシップで地元企業の研究を行っており、将来地元で活躍できる人材を育てていきたい。
- ・企業の魅力を知る機会として、総合学科には「産業社会と人間」という科目がある。  
(「産業社会と人間」の学習内容を説明)

- ・ 職業人インタビューでは、実際にお話を伺い、要点をまとめることで、学ぶことが多い。
- ・ 本校では、キャリアカウンセリングの面談を通して進路を決定している。
- ・ 学校の方向性を検討する「在り方検討委員会」を開催する予定である。選択肢が多くあるのはよいことだが、他の専門高校と比較して、専門的に学ぶ期間が短いことが課題となっている。そういった本校の課題を検討する予定である。

#### <委員より>

- ・ 生徒、教員ともに一生懸命やっており、目的を達していると思う。今年度は、コロナ対策のための休業もあったせいか、挨拶に元気がないと感じる。
- ・ 授業見学をして、選択できる授業があるのはよいことだと感じた。社会に出て役立つことを学んでいる。
- ・ オンライン、Web会議、キャッシュレス化等、企業は世の中の変化に対応することが必要である。同様に、学校も変わっていかねばならない。
- ・ 上之保で水害があった時に、ボランティアに参加し、被災した人から話を聞くことができてよい経験になった。現在はどこでどんな災害が起こるかわからない。もしもの時に、若い力で地域のために何かできる学校であってほしい。
- ・ 数年前から吹奏楽部が、小学校での演奏会を継続している。小学校や保育所と交流していることを、もっと地域に伝えるとよいのではないか。
- ・ 防災展を計画しているので、展示品があれば、ぜひご協力いただきたい。地域防災力をあげるためには、若い力が必要である。地域を守り、地域のためになる学校や生徒になってほしい。
- ・ みこし祭りは高校生の協力で開催できている。人懐っこい生徒たちは、授業とは別の目の輝きをしながら参加してくれている。
- ・ この地区には大企業がなく、住宅地であるため、「健康づくり岩野田」を目指している。岐阜薬科大学のキャンパス移転跡地を、本校を含めて地域でどう使っていくか、10年、20年先を見越して提案してほしい。本校への地元の期待は大きい。

#### (4) 本校への提言

- ・ 会社では、仕事だけでなく、あいさつやマナー道徳を教えることも多い。コミュニケーションが苦手な者もあり、社員旅行に行きたくないなどの意見があるのが実情である。「嫌だと辞める」「注意されると落ち込む」傾向にある。スポーツを経験している人は、そのような状況でも頑張れる人が多いので、真面目で元気な人材がほしい。
- ・ 1年で基礎を学び、2, 3年で専門を学習するカリキュラムを検討するとの話があったが、段階を踏んで進められていることに感謝している。そのような声は、他の保護者からも聞こえてくる。
- ・ 本校では特色ある教育をしている。学びは一生続くので、高校3年間でここまでやるということではなく、やりたいことに少人数で取り組み、個を伸ばしたり、地域との関わりの中で社会性を伸ばしていけるとよい。

#### 6 会議のまとめ (学校長より)

- ・ 本校では体験的学習を多く行っているが、学校評価アンケートの評価は高くない。系列やコースの分野別の学びを活用し、地域で実践できれば自己有用感が得られる。総合学科は第3の学科と言われており、1年次の「いかに将来を考えさせ、意欲を高められるか」が、2, 3年次の学びにつながっている。
- ・ コロナ禍で、4月、5月は一斉休業となり、6月15日から学校再開となった。現在も学習活動に制限があり、地域での活動は厳しい状況である。また、オンラインでの学習環境は、今後生徒一人一台のタブレット貸与が始まる。変化に対応した新しい学びの形を考えていかなければならない。

- ・ 本日はご多用の中、忌憚のないご意見をいただき、ありがとうございました。